

財団法人国際耳鼻咽喉科学振興会
平成 21 年度 (2009 年度) 事業報告

(項目)寄附行為(定款)第 4 条に基づき下記の事業を行う。

1 . 国際的に有意義な研究に対する研究助成事業

1) 若手日本人研究者に対する助成「戸田 SPIO 奨学金」

戸田 SPIO 奨学金として海外の学会での発表あるいは留学する日本人若手研究者を公募し
選考委員会において審査した結果、9 名に奨学金 20 万円を交付した。

(1) 瀬嶋 尊之 (自治医科大学医学部耳鼻咽喉科学教室)

Ghent University (ベルギー王国) 留学期間 2009 年 4 月 ~ 1 年

(2) 讃岐 徹治 (熊本大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

第 113 回米国耳鼻咽喉科学会議 (サテ`ィコ`) 2009 年 10 月 4 日 ~ 10 月 7 日

(3) 富田 俊樹 (慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科学教室)

University of Pittsburgh (米国) 留学期間 2009 年 4 月 2 日 ~ 6 月 13 日

(4) 渡邊 莊 (昭和大学医学部耳鼻咽喉科学教室)

The University of Chicago (米国) 留学期間 2009 年 9 月 ~ 2 年

(5) 倉上 和也 (山形大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座)

第 113 回米国耳鼻咽喉科学会議 (サテ`ィコ`) 2009 年 10 月 4 日 ~ 10 月 7 日

(6) 高林 哲司 (福井大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学)

ノースウエスタン大学ファイナル`ィコ`医科大学 (米国) 留学期間 2010 年 2 月 ~ 2 年

(7) 増田 毅 (日本大学医学部大学院耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野)

7th Asia Pacific Symposium on Cochlear Implants and related Sciences (シンガポール)
2009 年 12 月 1 日 ~ 12 月 4 日

(8) 鈴木 伸嘉 (信州大学医学部附属病院耳鼻咽喉科)

University of Antwerp (ベルギー王国) 留学期間 2010 年 1 月 1 日 ~ 12 月 31 日

(9) 牛尾 宗貴 (東京大学耳鼻咽喉科)

Neuroscience 2009 Annual meeting (シカゴ) 2009 年 10 月 17 日 ~ 10 月 21 日

2) SPIO Award の表彰

日耳鼻学会発行の AURIS NASUS LARYNX (ANL) 36 巻に掲載された論文を選考委員会におい
て審査した結果、大阪大学の佐々木知氏が選ばれた。賞状と賞金 5000 ドルを贈呈。表彰式
及び講演は第 111 回日耳鼻総会・学術講演会 (22 年 5 月 21 日) において行われる。

2 . 国際交流に対する助成事業

1) 若手外国人留学生に対する研究助成

研究助成金として耳鼻咽喉科学及び関連分野における優れた外国人若手研究者を公募し
選考委員会において審査した結果、2 名に助成金 30 万円を交付した。

(1) 張 青 (中国) 東京医療センター (指導: 加我 君孝 感覚器センター長)

研究テーマ: 側頭骨組織標本を用いた中耳病変の病理学的研究

- (2) Ahmed Megahed Mohammed Hassan (エジプト) 熊本大学 (指導: 湯本 英二 教授)
研究テーマ: 一側声帯麻痺に対する披裂軟骨内転術と併用術式に関する研究

3. 国際的な調査並びに関係資料の蒐集及び提供に対する事業

- 1) 耳鼻咽喉科学及び関連分野に関する最新の情報の収集を適宜行った。

4. 国際的学術会議等の開催に対する助成事業

- 1) 国際学術会議等 (第 10 回台日耳鼻咽喉科学会を含む 37 件) へ助成をした。
別紙「助成学会一覧」参照
- 2) 国際学術交流に対する助成として、以下の 4 学会の招待講演等へ各 50 万円助成した。
第 54 回日本音声言語医学会 第 52 回日本感染症学会中日本地方会学術集会
第 48 回日本鼻科学会 第 22 回日本口腔・咽頭科学会総会

5. 公益目的を達成するために必要な事業

- 1) 第 110 回日耳鼻総会時(21 年 5 月東京)に SPIO クラブを開設し、SPIO の広報活動を行うとともに、会員相互の交流を図った。
- 2) SPIO 出版として以下の 3 件の発行があった。
- (1) 筑波大学 原 晃 宿題報告
内耳性難聴の治療に向けて一病態モデルを用いたアプローチ
- (2) 東京大学耳鼻咽喉科学教室同窓会編
生誕百年記念 切替一郎教授の言葉の記録
- (3) 竹中洋教授退職記念 大阪医科大学耳鼻咽喉科学教室業績集
Department of Otorhinolaryngology, Osaka Medical College 1997 ~ 2009
- 3) ニュースレター第 9 号を発行した。(21 年 4 月 30 日発行)
- 4) ホームページにおいて適宜更新を行い、情報開示に努めた。
- 5) 財団設立 40 周年記念事業として 40 年史を作成する。

6. その他法人運営

- 1) 理事会及び評議員会を開催した。(21 年 5 月 19 日及び 22 年 3 月 30 日)
- 2) 寄附行為(定款)の施行細則ならびに諸規程を引き続き検討した。
- 3) 公益財団法人への移行準備が進められ、移行実行委員会が 2 回開催された。
(21 年 11 月 24 日及び 22 年 2 月 9 日)